

専徳寺報

第477号

令和5年11月3日発行

浄土真宗本願寺派

専徳寺

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<http://sentokuji-iwakuni.net/>

岩国 専徳寺

検索

永代経法要

御案内

今年最後の大切な永代経法座です。ご一緒に浄土真宗のみ教えをお聴聞いたしましょう。

日時

11月15日(水) 昼 1時半～3時半

11月16日(木) 朝 10時～正午

ご講師

本願寺布教使

渡辺 崇之 師

(福岡県朝倉市浄覚寺住職)



●参拝セット(念珠・聖典・式章・聴聞カード)
どうぞお持ちください。

如来・人・言葉 132

妻

妻

ひよつとして、これは私のために生まれてきてくれた女ではなかったか
あんまり、身近かにいてくれるので、気づかずにきたのだが…。

妻



とういよしお
東井義雄

「何もしてあげることができなくてすみません」
ポツリと

そんなことをいう 妻

「なんにもしてあげることができなくてすまん」のは、こっちだ
着るものから、たべるものから

パンツの洗濯まで
してもらってはっかりで

「なんにもしてあげることができなくて」
いるのは、こっちだ

しかも 妻に

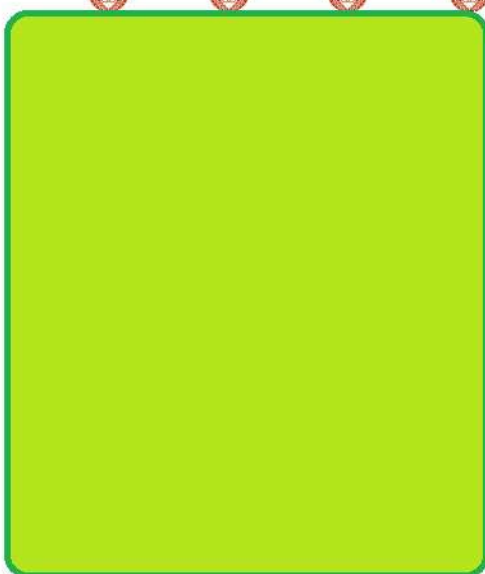
「すまん」といわれるまで

「すまんのほこっちだ」といってこっちを
気がつかないでいた、こっちこそ

ほんとうに
すまん。

〔東井義雄詩集〕 39頁

●ご恩を偲び
〔法事勤修9月12日〜10月31日〕



●み仏にいだかれて〔葬儀勤修〕

寺内だより

「もしかするとこの人は私のために、私を仏縁に遇わせるために生まれてきてくれたのではなかっただろうか」と、自分の妻・夫にかぎらず、周りの人をそんな目で見ることができる人がいます。
苦楽と悲喜の生活の裏にある、目にみえない多くのご縁によって、生死の迷いをこえゆくお念仏のありがたさにदैあつていきます。
十一月二十二日は「いい夫婦の日」です。
(住職)



おかげさまで無事に完成しました。永代経法要の初日の後に見学会を企画しております。

第二納骨堂完成



●ご報告します

▼秋讃仏会法要余香 9月29・30日

【ご講師】中島昭念師 【お鉢米】木村勲様

●ご案内します

▼境内清掃作業―専徳寺倶楽部

門徒男性による境内清掃作業を行います。ご加勢よろしくお願ひいたします。

【日時】12月16日(土)・15時半〜17時

ご参加くださる方は、お寺へご一報をお願ひいたします。(電話..38-1124)